

「改訂第5版 救急診療指針」訂正のお知らせ

ご好評をいただいております『改訂第5版 救急診療指針』（監修：日本救急医学会／ISBN：978-4-89269-945-0）におきまして、下記の通り訂正箇所がございますので、お知らせ申し上げます。

お客様には多大なご迷惑をお掛けいたしましたこと、伏してお詫び申し上げます。

【訂正箇所】

p.529「中毒各論」 右段・上から12行目

誤「炭酸水素ナトリウムの投与で**尿**のアルカリ化を図る。」

正「炭酸水素ナトリウムの投与で**血液**のアルカリ化を図る。」

(2018年4月17日)

p.151「超音波検査」 右段・下から5行目

誤「循環血液量が**減少**していれば、下大静脈径の呼吸性変動は低下する。」

正「循環血液量が**増加**していれば、下大静脈径の呼吸性変動は低下する。」

p.292「胸痛」 左段・下から2行目

誤「12誘導心電図で**II**誘導以上に」

正「12誘導心電図で**2**誘導以上に」

(2018年5月25日)

p.208「大動脈遮断用バルーンカテーテル挿入」 左段上「図VI-2-F2」

図VI-2-F2内のaortic Zoneの表記に誤り。「aortic Zone II」と「aortic Zone III」の**位置が逆**になっている。

誤「aortic Zone **II**」「aortic Zone **III**」

↓ ↓

正「aortic Zone **III**」「aortic Zone **II**」

※本文中（p.207，右段下から9行目）の説明書きが正しい。

(2018年6月21日)

p.235「腹腔穿刺・腹腔洗浄」 右段上「表VI-2-M1」

表VI-2-M1内の「腸管損傷」の判定基準表記に誤り。

誤「腹腔内出血が**陰性**の場合 WBC \geq RBC/150」

正「腹腔内出血が**陽性**の場合 WBC \geq RBC/150」

p.672「急性肝不全」 右段・下から2行目

誤「遅発性肝不全 (late onset **acute liver** failure ; LOHF)」

正「遅発性肝不全 (late onset **hepatic** failure ; LOHF)」

(2018年7月9日)

なお、以上の訂正につきましては次回増刷（5版2刷）時に反映予定となっております。

【更新履歴】

2018年7月9日：p.235「腹腔穿刺・腹腔洗浄」 右段上「表VI-2-M1」内の「腸管損傷」の判定基準表記の訂正， p.672「急性肝不全」の訂正について掲示

2018年6月21日：p.208「大動脈遮断用バルーンカテーテル挿入」 左段上「図VI-2-F2」訂正について掲示

2018年5月25日：p.151「超音波検査」， p.292「胸痛」の訂正について掲示

2018年4月17日：p.529「中毒各論」の訂正について掲示